

沖縄県うるま市の養豚場でCSF発生 (国内52例目、53例目)

- 1月8日、沖縄県うるま市の農場においてCSFの患畜が確認されました（52例目）。また、隣接する農場においてCSFの疑似患畜が確認されました（53例目）。

【農場の概要：52例目（1戸2農場）】

所在地：沖縄県うるま市

飼養状況：393頭

【発生の経緯】

- 1月6日（月）
 - うるま市内の養豚場から飼養豚が死亡していると報告を受け家畜保健衛生所職員が立入検査を実施
 - 家畜保健衛生所での検査によりCSFの疑いが生じたため、材料を農研機構動物衛生研究部門に送付
- 1月8日（水）
 - 遺伝子解析の結果、CSFの患畜と判定
 - 当該農場の飼育豚について防疫措置を講じるとともに、当該農場と飼養管理者が同一である農場（同県うるま市）の飼育豚も疑似患畜とし、防疫措置を講じる
（防疫措置対象：825頭（1戸2農場））

【農場の概要：53例目】

所在地：沖縄県うるま市

飼養状況：921頭

【発生の経緯】

- 1月7日（火）
 - 上記の52例目CSF発生農場に隣接する農場において、家畜防疫員による立入検査を実施
- 1月8日（水）
 - 家畜保健衛生所の精密検査により、CSFの疑似患畜と判明

異常があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

飛驒家畜保健衛生所

TEL：0577-33-1111（内線405）

FAX：0577-32-9019

※閉庁時には案内に従い「1」番をプッシュしてください。
土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。

